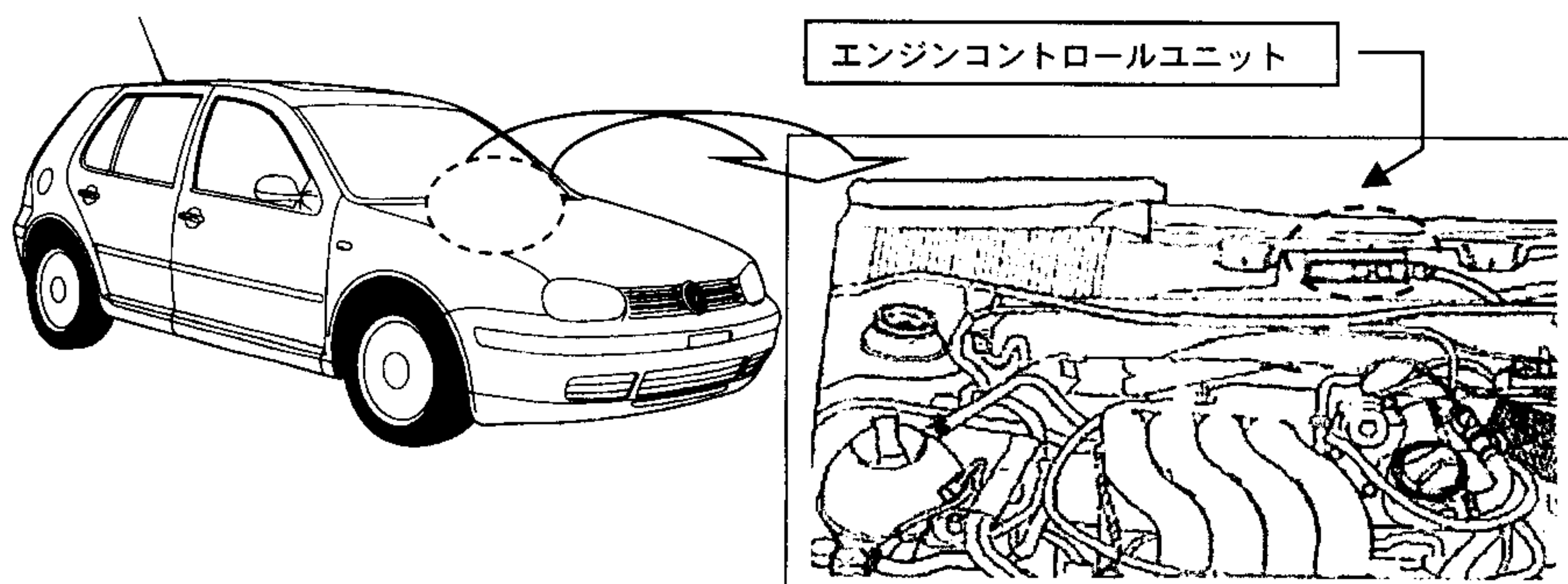


改善箇所説明図



基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因

原動機制御コンピュータのプログラムが不適切なため、外気温変化の大きな気象条件下で、O₂センサのセラミック部に付着した水分が、当該センサヒーターの作動時に熱負荷を与え、当該センサのセラミック部にヘアクラックが発生する。そのため、当該センサが、誤った空燃比信号を発信し、空燃比が濃くなり イグニッション失火状態が発生して、最悪の場合、異常な排気ガスを発生するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、O₂センサのセラミック部の損傷を防ぐよう、エンジンECUの制御プログラムを書き換える。

識別：キャンペーンステッカーに「24F9、日付(西暦・月・日の順)、ワークショップスタンプ」を記入し、スペアタイヤ収納部左側面に張付ける。

